

令和7年度

地域おこし協力隊 活動報告

ミッション 就農支援

所属団体：
農業法人株式会社あいばせ

小薺 拓実





【春】農作業（3月～5月）

3～4月の主な作業

水稲 種籾浸種、芽出し、乾燥を経て播種。苗箱を育苗ハウスにならべる作業を行いました。

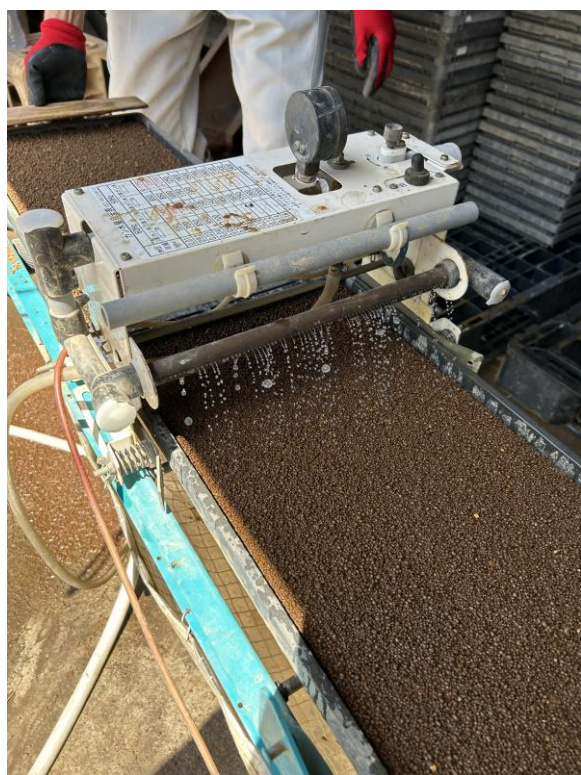
トマトハウスビニール掛け作業、耕起、苗の仮植、マルチシートを張り定植の準備を進めました。

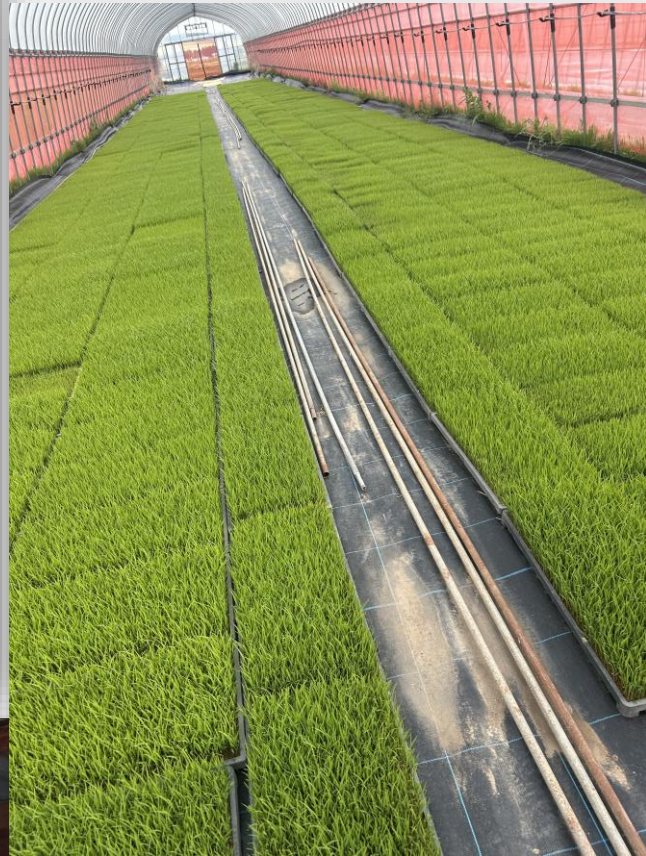
ユーカリの剪定、芍薬畑の草刈り。

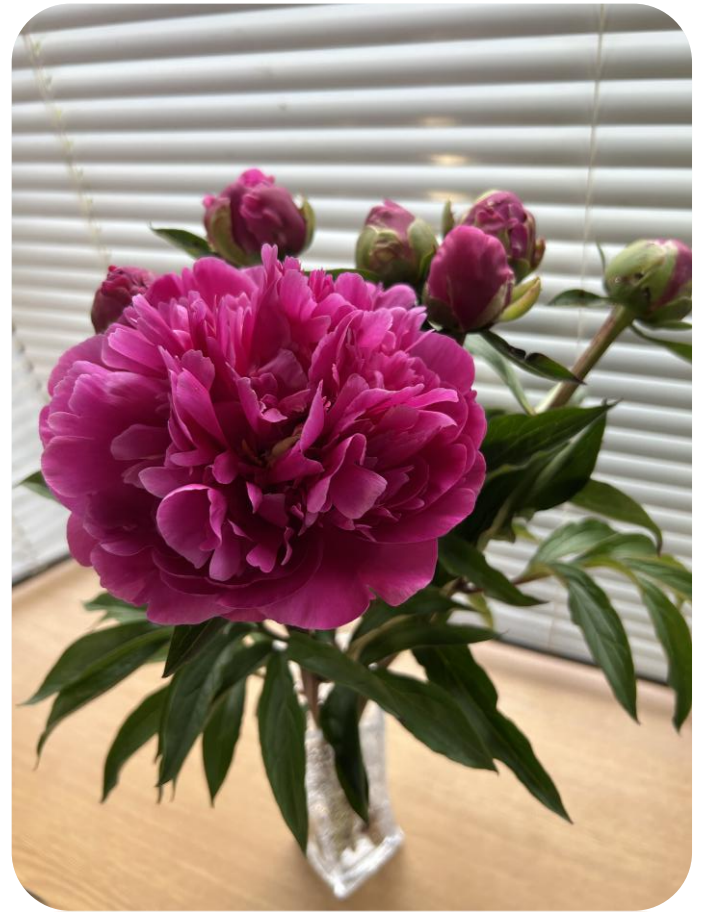
5月の主な作業

水稲苗散水、畦畔草刈り、そして田植えが始まりました。

トマト苗定植及び管理作業、ユーカリ畑草刈り、芍薬管理作業及び収穫出荷を行いました。







【春】農作業以外の活動



地域との交流

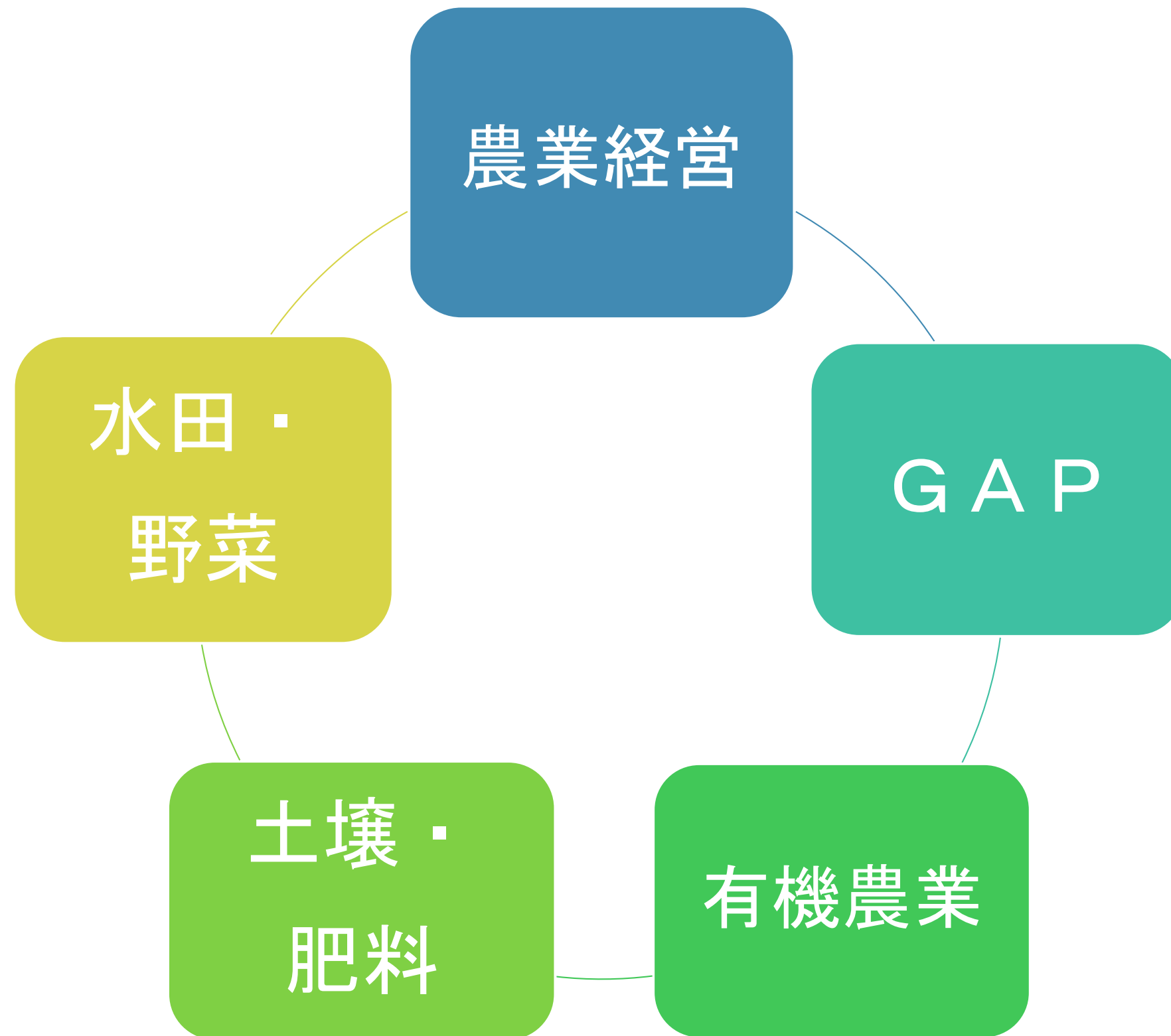
- ・ 大久保地区堰上げ
- ・ 北塩原村特産品づくりMTG
- ・ 裏磐梯ビジターセンター記念式典出品
- ・ 株式会社あいばせ通常株主総会
- ・ 事務所引っ越し



研修・学習

- ・ 1年を通し裏磐梯各店舗へ納品
- ・ 農業短期大学校就農研修～8月まで
- ・ ザベリオ学園高等学校1年生と田植え体験学習







【夏】農作業（6月～8月）

6月の主な作業

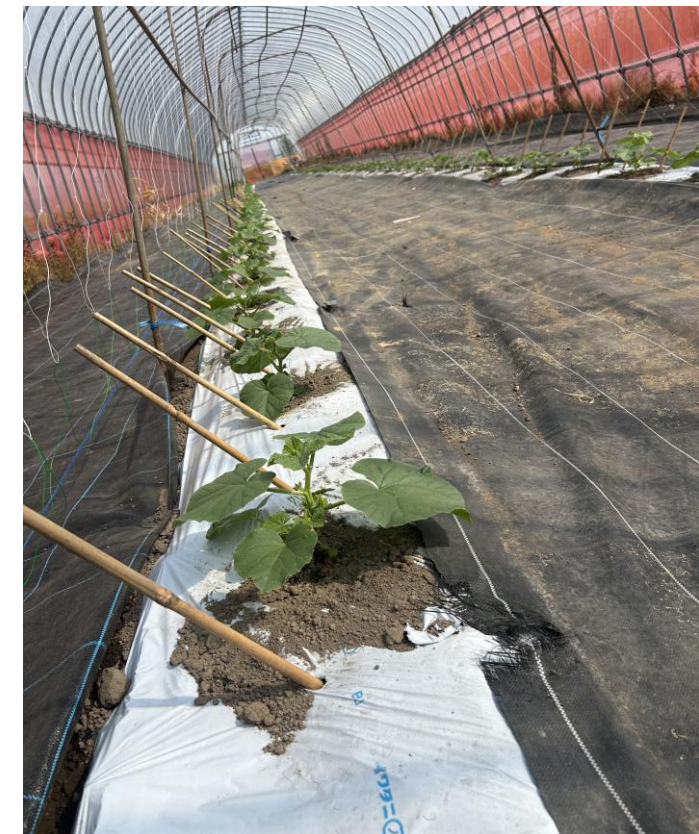
水田の水の管理作業と畦畔の草刈りは稲刈り前まで続きます。
トマトの管理作業も収穫まで続きます。そしてメロンの播種をしました。

7月の主な作業

引き続き水田水管理及び畦畔草刈り、各圃場電柵設置、そしてトマトの収穫、出荷が始まりました。その他、遮光幕の取り付け、かぼちゃ畑マルチシート張り、メロンの管理作業、ユーカリの防除などを行いました。

8月の主な作業

水田水管理及び畦畔草刈り、水田溝立て、トマト収穫及び出荷及び管理作業、ソバの播種及び耕運、そして各圃場の草刈りに追われました。







【夏】農作業以外の活動



地域との交流

谷地集落協定草刈り、下川前共同草刈り、川前共同電柵設置、水稻無人ヘリ防除作業など、各集落の方々の共同作業を行うことにより、各作業の技術と知識を深め、交流の輪を広げる事にも繋がりました。



研修・学習

阿佐ヶ谷美術専門学校生のみなさんにトマトハウスの管理作業を手伝っていただきました。若い力に感銘を受けながら自分の仕事の振り返りにも繋がりました。そして農業短期大学校就農研修を修了しました。







【秋】農作業（9月～11月）

9月の主な作業

トマト管理作業及び収穫出荷、水田水管理、畦畔各圃場草刈り、そして稲刈りが始まりしました。

10月の主な作業

引き続きトマト管理作業及び収穫出荷、そして稲刈り及び籾摺り米袋詰めを実施しました。長雨のせいで圃場の状態が悪く、稲刈りは苦しい戦いとなりました。しかし荒れた圃場での稲刈りの経験はこの先に繋がると思います。またコンバインの修理の知識なども少しは身に付いたと感じます。

11月の主な作業

ユーカーリ収穫出荷、ビニールハウス冬越し解体撤去作業、各圃場電柵撤去作業、販売用米袋詰めを行いました。冬に向けた圃場の片付け作業が中心となりました。



【秋】 農作業以外の活動



商品開発

昨年の各種ジャムの商品化に続き餅の製作販売や米粉の商品化を進めています。特に米粉に関しては需要が高まっていることもあり力を入れていきたいと感じています。



地域との交流

1年を通して開催する棚田オーナーイベントや例年のすぎなみフェスタへの参加、そして大久保地区のお祭りに参加させていただきました。



研修など

6次化サポート推進による「あいづ“まるごと”ネット交流会」参加、「有機農業推進セミナー」受講、商工会主催の「北塩原村創業塾」受講、そしてドローンの免許を取得しました。







【冬】活動（12月～2月）

12月の活動

ユーカリ収穫出荷、ニンジン収穫出荷、そして倉庫整理片付けや肥料薬剤在庫整理を行いました。農閑期に入り、設備や資材の整理・点検作業が中心となりました

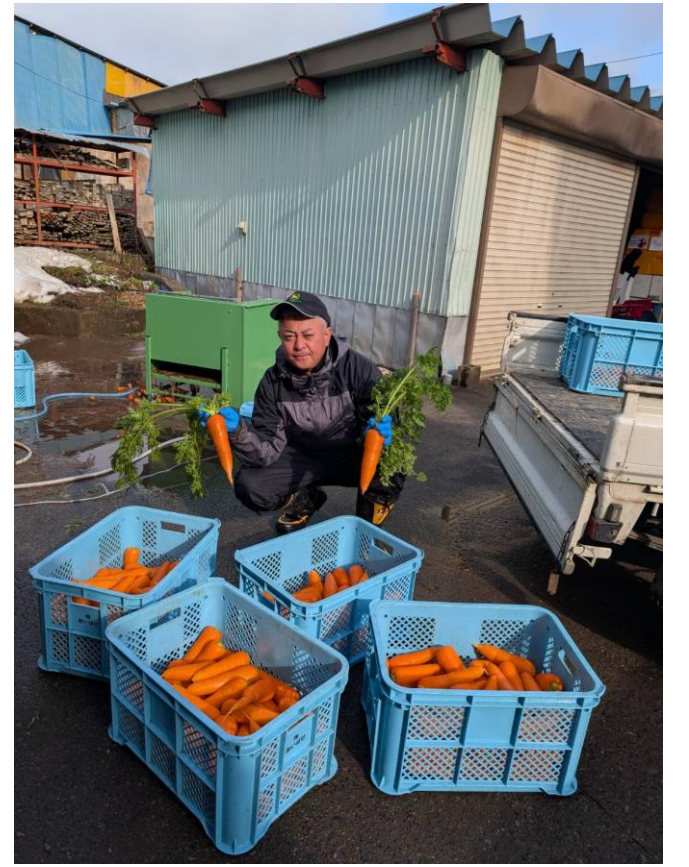
1月の活動

引き続きニンジン収穫出荷、米保管庫設置に伴い倉庫米移動運搬、会社や倉庫周り個人宅の除雪、令和8年度作付け計画作成と共に就農研修受講の復習をすることにより知識を再確認することができました。

2月の活動

引き続き作付け計画の作成や準備、そして除雪作業を行いました。昨年のような大雪ではなかった分、次年度の準備期間としての時間をつくることができました。そして「北塩原村産100%米粉」の商品化を進めました。

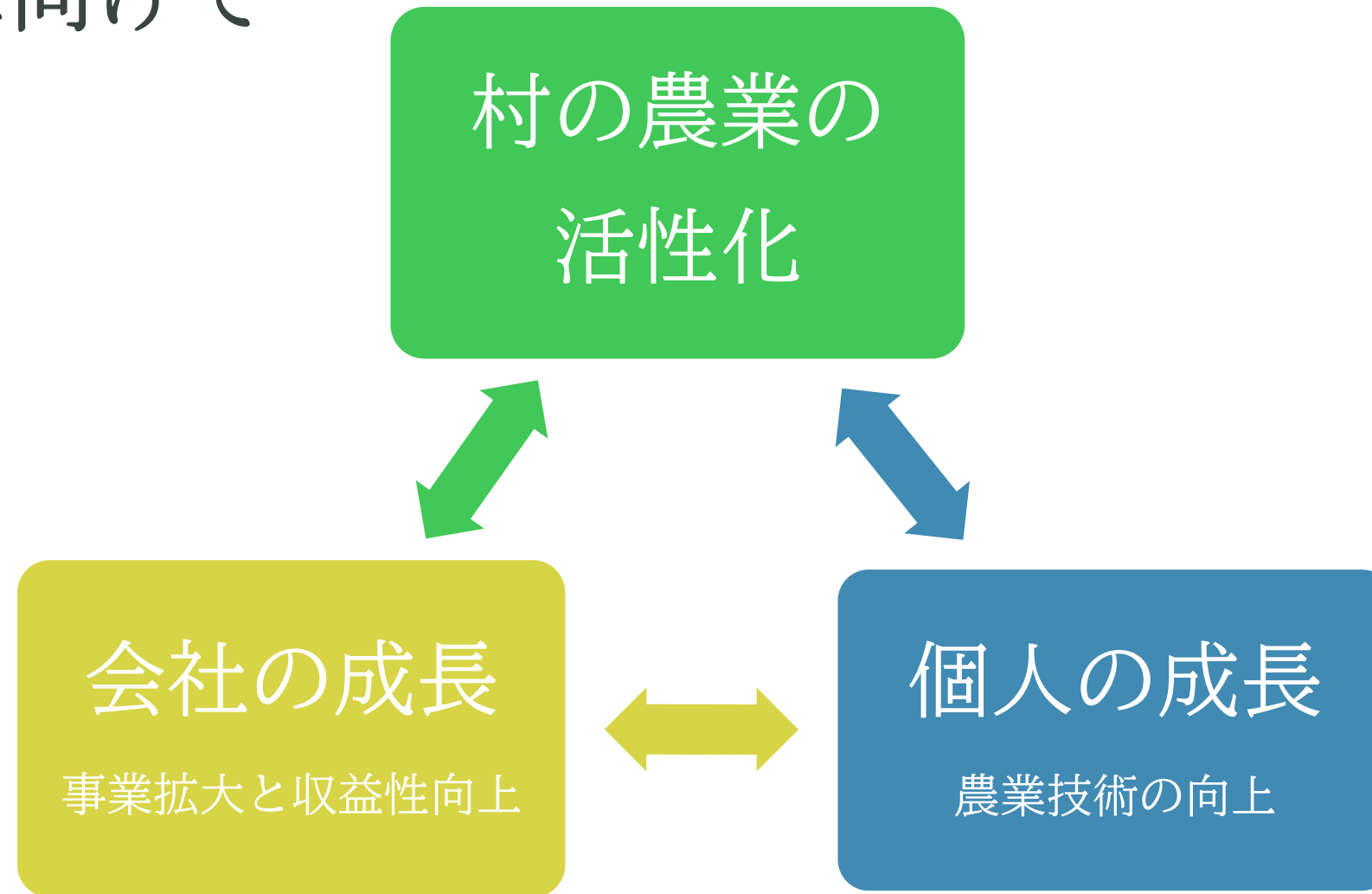








これからに向けて



今年度を振り返り、少しずつですが知識を踏まえながらの作業ができていると感じています。田植え機やトラクター、コンバインや除雪機などの扱いも少しずつ慣れてきました。

これからは個人の成長を目指し、農業体験の継続による関係人口の創出や、加工品開発による収益性向上など会社の成長に努め、それが村の農業の活性化や地域貢献に繋がると考えています。

最後に

残り約半年の任期となりましたが、令和8年度も
水稻を中心に様々な作物の栽培を手掛けていきます。
農業技術の向上はもちろんですが、地域内での信頼
関係の構築や、これからの移住者や新規就農者の手
助けになるような存在となり、少しでも村の農業の
活性化に繋げ、そして村の農業のプラスになれば
と思っております。

ご清聴ありがとうございました。